

2025年5月15日

コーヒー生産国で「教育分野の支援」 『KEY COFFEE TOARCO 財団』3 回目の活動を実施 インドネシア・トラジャ地域の小・中学校に文房具を寄贈

キーコーヒー株式会社(本社:東京都港区、社長:柴田 裕)のグループ会社であるインドネシアの現地法人 PT.TOARCO JAYA(本社:Jakarta Timur、社長:児玉 道春)は、サステナビリティ活動の一環として、インドネシアにおける「教育分野の支援」を目的に、2025年4月14日から4月24日の期間で、3回目となる『KEY COFFEE TOARCO 財団』の活動を実施。トラジャ地域の小・中学校、計8校(約880名)に文房具を寄贈しました。



寄贈先の学校とPT.TOARCO JAYA 社員の集合写真



寄贈した文房具

『KEY COFFEE TOARCO 財団』3 回目の活動として、2025年4月14日から4月24日の期間で寄贈活動を実施。トラジャ地域の小・中学校、計8校(約880名)に文房具を寄贈するとともに、「PT.TOARCO JAYA」社長の児玉らが現地を訪れ、学校関係者や生徒たちと交流を深めたほか、インドネシア語でスピーチを行いました。

『PT.TOARCO JAYA』社長 児玉によるスピーチ(一部抜粋)

「学ぶことは見識を広め、人生を豊かにしてくれます。
PT.TOARCO JAYA は長い間、トラジャで皆さんと一緒に暮らしてきました。これからも、皆さんと共においしいコーヒーを作り続けたいと願っています。」



文房具を寄贈する児玉社長

『KEY COFFEE TOARCO 財団』について

当社のフラッグシップブランド「トアルコ トラジャ」の生産国である、インドネシアの「教育分野の支援」を目的に2023年5月に設立。当社が約50年にわたり取り組む地域一体型事業「トラジャ事業(※)」におけるサステナビリティ活動の一環として、インドネシア・トラジャ地域の小・中学校にノートやボールペンなどの文房具を寄贈しています。当財団のロゴマークにあしらったコーヒーリーフには、喜びや幸福を意味する黄色を採用。当社および現地法人「PT.TOARCO JAYA」と現地の方々との“絆”を象徴しています。



ロゴマーク

【本件に関するお問い合わせ先】

キーコーヒー株式会社 広報チーム 担当 高木・岡田
TEL 03-5400-3069 / Email key1@keycoffee.co.jp

※約 50 年にわたる地域一体型事業「トラジャ事業」について

トラジャコーヒーの歴史は古く、18 世紀にはその優れた品質から「セレベス(スラウェシ)の名品」と珍重されていました。しかし、大戦の混乱に伴いその姿は市場から消失。いつしか「幻のコーヒー」と呼ばれるようになりました。そのようなか、当社はトラジャコーヒーを復活させるべく、1970 年代から「トラジャ事業」を開始。荒れ果てた農園の開発や道路等のインフラ整備を経て、530ha におよぶ直営パダマラン農園を開墾しました。

その後、近隣農家へ苗木の無償配布や栽培指導、雇用の創出などを行い、現地の生産者と共に理想のコーヒーづくりを追求した結果、1978 年に「トアルコ トラジャ」の発売を開始。かつての「幻のコーヒー」を現代に復活させました。

「トアルコ トラジャ」ブランドサイト URL: <https://www.keycoffee.co.jp/toarcotoraja/>

キーコーヒーは、『珈琲と KISSA のサステナブルカンパニー』を掲げ、喫茶文化の継承と持続可能なコーヒー生産を実現する事業活動を行ってまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

キーコーヒー株式会社 広報チーム 担当 高木・岡田

TEL 03-5400-3069 / Email key1@keycoffee.co.jp